

令和5年度学校評価アンケート（前期）

ま と め



こうなんちゃん

【学校教育目標】

「心豊かで、自ら学び、夢に向かってたくましく生き抜く子どもの育成」

【チャレンジ目標】

「進んであいさつ だまって掃除 天気のいい日は外あそび」

■グラフの見方

肯定率は、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計を、「わからない」「無回答」を除いた全回答者数で割り、百分率（%）で表したものです。

宇部市立厚南小学校

< I > 学力アップ

【今年度の重点目標（取組）】

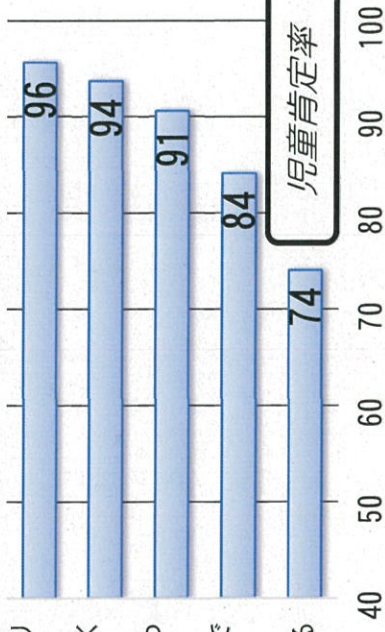
- 「分かる・楽しい」につながる指導のPDCAサイクル（授業の工夫・改善）の取組
- 学習規律・学習習慣の徹底
- 児童の話す・聴く力を伸ばすための工夫と改善
- 児童の主体性（学力）を伸ばす朝学・自主学習の充実及び児童自身による学習のPDCAサイクルの実施
- 家庭での読書習慣の定着

■家庭での読書習慣に関しては、まず学校での読書活動を充実させます。また、今後は本の持ち帰りを進め、図書室の本を家で読めるようにします。まずは、読書習慣の育成からはじめ、徐々に自主的な読書活動に向けてシフトしていきます。本の紹介やビンゴ、読書時間に教員も読むなど「本を読みたい」と思える環境を整えていきますので、ご家庭でも一緒に読むなどのご協力をお願いいたします。

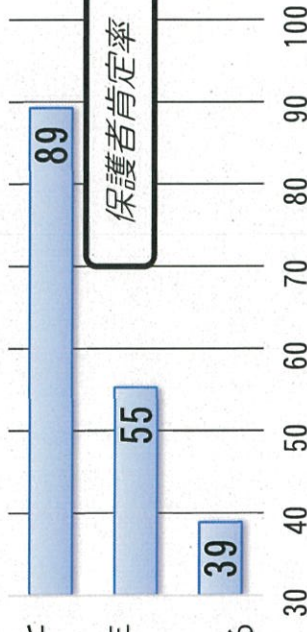
■家庭学習に関しては、宿題は個々で量感に違いがあると思いますが、学年で学習時間（学年×10分）の徹底をし、組織として差が出ないようしていきます。また、2学期からは子ども主体の学びとして「自主学習」の充実を図ります。低学年から高学年まで、「価値付け→定着→ふり返りに基づいた自主学習」の柱を基盤に、自主学習の充実に努めます。

■子どもたちにとって「分かる・楽しい授業」が今後も徹底できるように、自己選択型の個別最適な学びと協働的な学びを提供し、生活につながる学習をめざします。教師のPDCAサイクルと、児童自身のPDCAサイクルを意識し学力の向上に努めます。

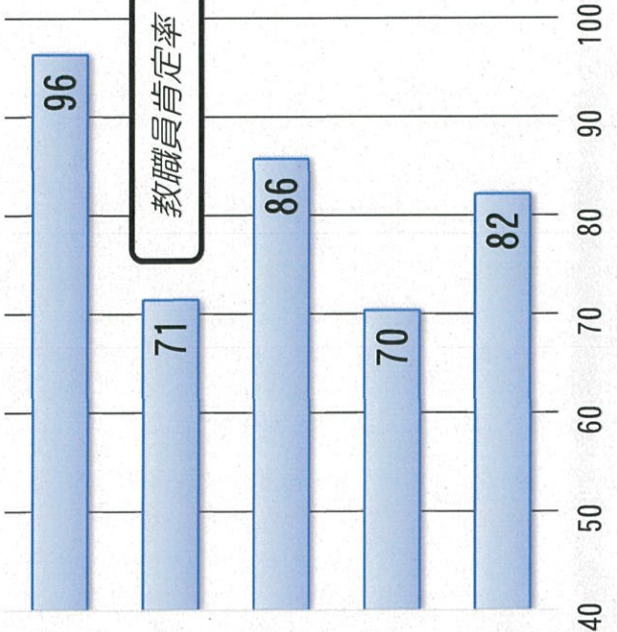
- ①授業は自分たちで考えたり、調べたり、体験したりする活動があり楽しい
- ②自分の考えを進んで話したり、友だちの考えをよく聞いたりして取り組んでいる
- ③「学習の約束（ベル着・次の時間の学習準備（かつお））」を守っている
- ④家庭学習（宿題や自主勉強）に進んで取り組んでいる
- ⑤家でも読書をよくしている



- ①お子さんは、授業が分かりやすく楽しいと感じている
- ②お子さんは、進んで家庭学習（宿題や自主勉強）に取り組んでいる
- ③お子さんは、家庭でも読書に親しんでいる



- ①児童は、授業が分かりやすく楽しいと感じている
- ②児童は、発達段階に応じた「聴き方・話し方」が身についている
- ③児童は、「学習の約束（ベル着・次時の準備（かつお））」を守っている
- ④児童は、家庭学習の習慣が身についている
- ⑤児童は、読書に親しんでいる



<Ⅱ> 安心安全アップ

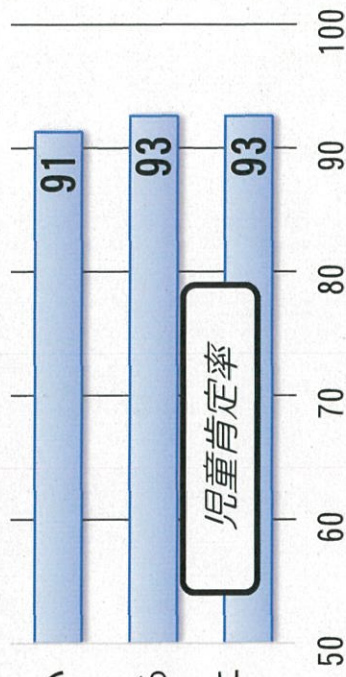
【今年度の重点目標（取組）】

- 情報共有・同一步調での規律を大切にしました生徒指導体制の充実
- 多面的な児童理解及び問題の早期発見と対応

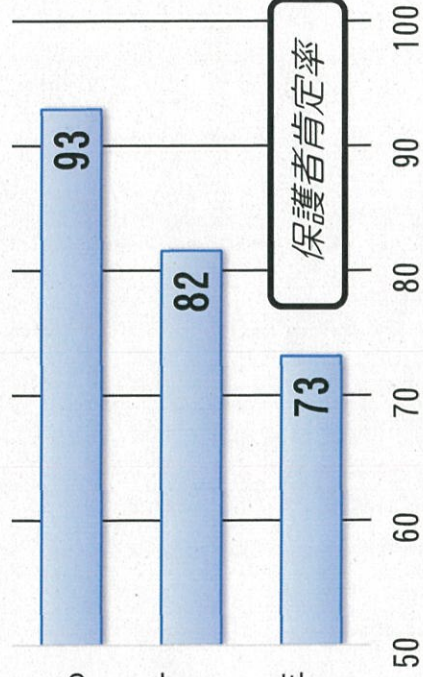
■学校のきまりに関しては、「生活のきまきま」を学年初めに全児童に配付し、指導しますが、校外のきまについては、規範意識に課題が残ります。児童主体で、きまを見直すなどして規範意識を高めていけるよう努めます。「生活のきま」はご家庭に持ち帰っているもので、親子でも確認していただけると助かります。

■あたたかい雰囲気づくりについては、日々の学級づくりを大切にしながら、特別活動、人権教育、道徳教育の充実をめざし、学校全体でそれぞれの児童が過ごしやすい集団づくりに取り組んでいきます。

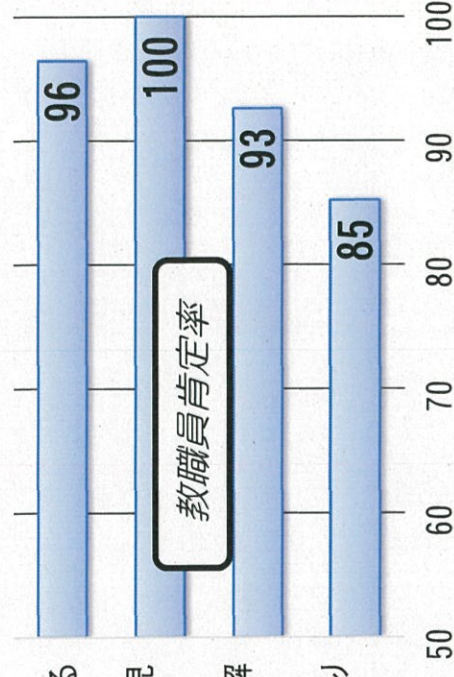
■学校では週1回の「生活アンケート」や学期1回の教育相談を行い、児童が相談しやすい環境を整えながら、児童の情報を全職員で共有し、多面的な児童理解を深化させるよう努めます。また、児童や保護者の悩みや不安が少しでも解決できるようにスクールカウンセラーとの連携も密にしています。



- ⑥学校に行くのが楽しい
- ⑦学校のきまりをよく守って生活している
- ⑧困った時は、先生や友だちなど、だれかに相談できる



- ④子どもは楽しく学校に通っている
- ⑤学校は、子どものことについて相談しやすい
- ⑥学校は、おたより等でお子さんの学校生活での様子をくわしく伝えている



- ⑥児童は、学校に楽しく通っている
- ⑦「生活のきまり」の指導の徹底を図り、児童に規範意識が身に付いてきている
- ⑧一人ひとりの児童のよさや気持ちを理解するよう努めている
- ⑨家庭への連絡はきめ細かく行い、おたより等で児童の様子を伝えている

<Ⅲ> 豊かな心アップ

【今年度の重点目標（取組）】

- 互いを認め合える関係づくり、居場所のある楽しい集団づくり
- 言葉遣いやあいさつ等の礼儀やマナーなど規範意識や人権感覚を高める取組
- 人への思いやりを育み、命の大切さを実感させる指導の強化

■ あいさつ運動等を通して、あいさつができる児童が増えています。学年が上がるにつれて、自分から進んであいさつができる児童も多く、これからも続けて欲しいと思います。しかし、保護者⑦・教職員⑩のように学校外のことも含めるとまだまだ不十分です。今後ともさらに元氣よくあいさつができる児童を学校全体で育成していきます。

■ あたたかい言葉づかいについて、児童⑩の92%に対して保護者⑧では69%となっており、日々の児童の言葉づかいに対して課題が残り残ります。委員会等を中心に全校で言葉づかいに対して考える機会を設け、児童一人ひとりが自分の言葉づかいについて考えられる取組を計画していきます。学校だけでなく、家庭や地域でも子どもたちが優しく思いやりのある言葉づかいに気をつけられるよう、ご指導よろしくお願いたします。

■ 「だまって掃除」については、整美委員会で呼びかけるなど児童が無言で丁寧に掃除を行えるよう、引き続き取組の充実をめざします。

- ⑨ チャレンジ目標「進んであいさつ」ができている **93**
- ⑩ チャレンジ目標「だまって掃除」ができている **90**
- ⑪ 人が嫌な思いをすることを言わないでやさしい言葉づかいをするように気をつけている **92**
- ⑫ 先生や友だちは、自分ががんばったことをほめたり、はげましたりしてくれる **92**

児童肯定率

50 60 70 80 90 100

- ⑦ お子さんは、家庭や地域でもあいさつがよくできている **72**
- ⑧ 子どもたちは、やさしくあたたかい言葉づかいをしている **69**
- ⑨ 学校生活での友だち関係や命の大切さについて親子でよく話をしている **85**

保護者肯定率

50 60 70 80 90 100

- ⑩ 児童は、チャレンジ目標「進んであいさつ」が、よくできている **82**
- ⑪ 児童は、チャレンジ目標「だまって掃除」が、よくできている **79**
- ⑫ 児童は、やさしくあたたかい言葉遣いをしている **82**
- ⑬ 人権に関する問題を正しく理解させ、人権感覚を高める指導をしている **96**

教職員肯定率

40 50 60 70 80 90 100

<Ⅳ> 元気力アップ

【今年度の重点目標（取組）】

○メディアコントロールや体力向上・元気パワーアッププランの着実な取組

■家庭・地域と連携し、科学的データに基づいたメディアの影響について知らせること
で、子どもたち自身が自分から納得して、メディアコントロールに取り組み始めるようにしていきます。

（具体的な活動）

- ・メディアの影響を学ぶ機会をつくる。
- ・メディア以外の楽しい過ごし方を紹介する。
- ・保健委員会による啓発活動
- ・親子で対話することの大切さを啓発する。

■PDCAサイクルを意識した子どもも主体の体力向上に向けた取組を行います（重点：体力の向上）。

（具体的な活動）

- ・自分に合った運動メニューの選択や動画を参考にした練習をするため、ICT機器を活用させる。
- ・活動後、適切な評価を行うことで意欲付けを行うとともに、さらなる改善点を意識させ、次のサイクルへとつなげていく。
- ・運動習慣をつけさせることで、メディアとの接触時間を減らしていく。

<Ⅴ> コミュニティ・スクール

■「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を進めていくための活動をしています。学校運営協議会や厚南中学校区3校合同研修会では、子どもも主体としたカリキュラムを考え、ふるさとへの愛着や地域貢献意識を育む取組を進めています。

